

校種	学年	小学校						中学校			高等学校		
		第1学年	第2学年	第3学年	第4学年	第5学年	第6学年	第1学年	第2学年	第3学年	第1学年	第2学年	第3学年
聞く	幼児	身体を動かしながらリズムや音楽に合わせて遊びやゲームを行い、外国語に慣れ親しむ。						身体を動かしながらリズムや音楽に合わせて遊びやゲームを行い、外国語に慣れ親しむ。			身体を動かしながらリズムや音楽に合わせて遊びやゲームを行い、外国語に慣れ親しむ。		
	小学校	自分や友達について尋ねたり答えたりして大事なところを落とさないように興味を持って聞こうとする。	身近にあるものや友達について大事なところを落とさないように興味を持って聞こうとする。	身近なものを題材にした短い簡単な内容の英文を聞き、大よその内容を聞き取ることができる。	身近なものを題材にした短い簡単な内容の英文を聞き、内容を聞き取ることができる。	身近な人物や物事などの紹介スピーチを簡単な単語で話してもらえれば、話し手が伝えたいことの要点を聞き取ることができる。	身近な人物や物事などの紹介スピーチを簡単な単語で話してもらえれば、話し手が伝えたいことの要点を聞き取ることができる。	はっきりと話されれば、日常的话题について話の概要を聞き取ることができる。	はっきりと話されれば、社会的な話題について、短い説明の要点を捉えることができる。	中学校卒業レベルについて、スピード・アクセント等の話し手からの多くの支援を活用すれば、会話全体のおおまかな流れを把握することができる。	日常的に話される話題について、スピード・アクセント等の話し手からの多くの支援を活用すれば、会話全体のおおまかな概要や要点を捉えることができる。	日常的に話される話題について、話し手からの一定の支援を活用すれば、会話全体の概要や要点を捉え、自身に必要な情報を聞き取ることができる。	
読む	幼児	アルファベットの大きな文字をおおむね読むことができる。						アルファベットの大きな文字・小文字をおおむね読むことができる。			アルファベットの大きな文字・小文字をおおむね読むことができる。		
	小学校	アルファベットの大きな文字をおおむね読むことができる。	アルファベットの大きな文字・小文字をおおむね読むことができる。	学習した英単語をイラストがなくても読むことができる。	身近な英単語をイラストがなくても読むことができる。	1年生の教科書の本文を正しい発音、抑揚で音読することができる。	2年生の教科書の本文を正しい発音・意味の区切り・抑揚で内容を意識しながら音読することができる。	3年生の教科書の本文を正しい発音・意味の区切り・抑揚で内容を意識しながら音読することができる。	教科書の本文内容について、辞書や参考書等の多くの支援を活用すれば、文章全体のおおまかな流れを把握することができる。	教科書の本文内容について、文章全体のおおまかな流れを把握し、辞書や参考書等の多くの支援を活用すれば、概要や要点を捉えることができる。	教科書の本文内容について、文章全体の概要や要点を捉え、辞書や参考書等の一定の支援を活用すれば、要約することができる。		
話す	発表	初歩的な会話で使われる単語についてヒントを得ながらおおむね正しい発音をすることができる。						自己紹介や道案内などの初歩的な会話で使われる単語についてヒントを得ながらおおむね正しい発音をすることができる。			前もって準備した上で既習の表現を基に、相手を意識しながら発表することができる。		
	やりとり	遊びやゲームの中に「はなすこと(やりとり)」を取り入れ、外国語に慣れ親しむ。	遊びやゲームの中に「話すこと(やりとり)」を取り入れ、外国語に慣れ親しむ。	チャンツで覚えた表現を使い、ジェスチャーを工夫しながら短い簡単な会話で話そうとすることができる。	短い簡単な会話におけるアイコンタクトやクリアボイス、ジェスチャーなどの工夫がわかり、意識して話そうとすることができる。	自分や身近な人物の話題について尋ねたり答えたりすることができる。	自分や身近な人物の話題について、自分の知りたい内容を考えながら、尋ねたり答えたりすることができる。	食べ物や道案内の場面などで適切な表現を用いて、対話例を参考にしながら伝え合うことができる。	道案内や買い物の場面などで適切な表現などを用いて、対話例を参考にしながら会話を続けることができる。	社会的な話題について、自分の願いや賛成・反対の意見を述べながら話し合うことができる。	道案内や公共交通機関等の乗り換え案内の場面において、視覚的補助等の多くの支援を活用すれば、質問の受け答えや説明をすることができる。	自分自身や自分の住んでいる町について、ICT等の多くの支援を活用すれば、質問の受け答えや説明をすることができる。	お互いに興味のある話題について、ICT等の一定の支援を活用すれば、自身の考えや気持ちを伝え合うことができる。
書く	幼児	アルファベットの大きな文字と小文字を4線に正しく書くことができる。						アルファベットの大きな文字と小文字を4線に正しく書くことができる。			アルファベットの大きな文字と小文字を4線に正しく書くことができる。		
	小学校	アルファベットの大きな文字と小文字を4線に正しく書くことができる。	アルファベットの大きな文字と小文字を4線に正しく書くことができる。	音声で十分になれ親しんだ身近な簡単な語句を書き写すことができる。	音声で十分に慣れ親しんだ基本的な表現を書き写すことができる。	身近な話題について、既習表現を用いて、自分の感想や意見など3～5文程度のまとまりのある文章を書くことができる。	身近な話題について、既習表現を用いて、自分の感想や意見など3～5文程度のまとまりのある文章を書くことができる。	自分の好きなものや行事や旅の思い出について、簡単な紹介文を書くことができる。	日常的话题について、既習表現を用いて、自分の予定や将来の夢についてなど4～6文程度のまとまりのある文章を書くことができる。	社会的な話題について、内容・構成を考えて、5～7文程度のまとまりのある文章を書くことができる。	身近に話される話題について、辞書や参考書等の多くの支援を活用すれば、中学校卒業レベルの簡単な英語で友達や家族に手紙やメールを書くことができる。	教科書の本文内容について、辞書や参考書等の多くの支援を活用すれば、自身の考えや気持ちを簡潔に書くことができる。	教科書の本文内容について、辞書や参考書等の一定の支援を活用すれば、自身の考えや気持ちを理由を含めて書くことができる。